

分野を超えた多角経営

地域で雇用と産業を両立

(株)武田電子

創建

鈴木定雄さんは、もともと農業を手掛けていた。稲刈り後に行っていた出稼ぎに代わるものがないか、様々な仕事や、かつてのいわゆる内職などを思案し、冬季の収入としていた。その中で、内職の取り引き先から継続して納品して欲しいとオファーがあった。生産を担う人手確保がネックになっていたようだった。これを受ける形で武田電子は創業、武田地区に本社工場を新築した。当時は発注先から指導を受けながら、6人ほどの従業員を抱えて、トロイダルコイルを製造していた。



トロイダルコイル

拡大

地域の企業の代表らと共に、関東地方へ営業に足を運んだ。当時の関東地方では、製造の仕事があふれるようにあったという。そんな中、オートバイに配線として使われるハーネスという部品製造を受注した。時を同じくして、給湯器に使われるセラミック抵抗器の生産も受けた。異なる製品分野だったが、挑戦する意思で受注した。時が経つと情勢が変わり、生産にも陰りが見えはじめた。オートバイに使われる配線の生産から自動車の配線へと手を広げていたが、発注が減少していった。この失注を支えたのが、製品分野が異なるセラミック抵抗器であった。分野を超えた生産体制が、情勢に揺らぐことのない経営へと繋がったのだ。

指針

分野の壁を超え始めた同社。鈴木定雄さんに、もの作りの基本を問うと「管理票につかわれる」と話す。追われるようにプレッシャーを感じながら製造するより、一つひとつの工程をかみ砕き、ゆとりを持って製造した方が良いという考えだった。新規受注で製造にあたる時は、従業員を研修に派遣し、ノウハウを習得させて製造が始まるという。しかし、習ったことそのままでは、コスト面や効率面がネックになる。完成までの過程や材料の性質を精査し、自社に合った方法を製造に落とし込んでいく。

信頼

鈴木定雄さんは、「仕事をする上では人間関係と信頼が大切」と語る。営業では、受注を得ることのほかに、人間関係の構築にも注力してきた。その結果、オイルタンカー(油送船)に搭載のレベルマスタ(液面計)の生産をすることに繋がった。現在、国内でオイルタンカーの生産を手がける工場は数えるほどもないという。

営業で培った人間関係は、地域貢献に波及した。同社始まりの地で、子どもたちが学べる場を提供する様になった。鈴木定雄さんは、武田小学校の運動会に協力し、ペットボトルを使った水口ケットの打ち上げに、日本宇宙少年団中里分団長として携わっている。今年で16回目の打ち上げだった。



武田小学校の運動会に協力し、ペットボトルを使った水口ケットの打ち上げに、日本宇宙少年団中里分団長として携わっている。今年で16回目の打ち上げだった。



着眼

ケーブル加工は、機械による完全な自動化ができない。機械化を進めた分のコストが上昇する。また、作業が緻密で複雑なため、生産には必然的に手作業が求められる。見込まれる需要へ確実に対応するため、そして海外の列車で空調に使われる、電線を束ねたハーネスと呼ばれる部品製造の発注も後押しとなって、新会社のT・T・Sが誕生する。武田電子のハーネスを中心に扱う部門の、更なる発展のため、挑戦ともいえる立ち上げだった。社名は、過去の事業で冠していたT・T・S。武田電子のT、信用を意味するトラスのT、サービスのSの頭文字だ。代表の鈴木憲幸さんは武田電子在職時からの信頼関係を大切にしながら、営で地域の雇用を守っている。



海外の列車で空調に用いられるハーネス。配線は何本にも分岐している。

共生

より一層の事業強化の道を進むT・T・S。代表の鈴木憲幸さんは地域の雇用に触れながら「社員全員が成長し、会社全体で成長することで信頼の獲得につながってきたい」と話す。創業当時を築ではなかったと話すその眼は、しっかりと「次」を見据えている。

関連企業を含めると100人もの地域の雇用を支える武田電子。「生産拠点が海外に移らずに日本に残るものを見極め、この津軽で手掛けていきたい」と地元産業に掛ける思いを話す。分野を超えた多角経営は、地域の雇用を支えている。



(株)T・T・S
代表取締役
鈴木 憲幸さん



(株)武田電子
代表取締役社長
鈴木 定雄さん

株式会社 武田電子

【代表】 代表取締役社長 鈴木 定雄

【所在地】 〒037-0202
五所川原市金木町字芦野479-1

【電話】 0173-52-5589

【設立】 1989年4月

【従業員】 70人

【URL】 <http://www.takeda-denshi.com/index.html>

【業務】 耐熱ガラス線切圧加工、ハーネス切圧加工、給湯器用セラミック抵抗器、LPG輸送船用レベルマスター、オイルタンカー(油送船)用レベルマスター



会社情報

株式会社 T・T・S

【代表】 代表取締役 鈴木 憲幸

【所在地】 〒037-0305 中泊町中里字亀山329

【電話】 0173-26-5335

【設立】 2014年12月

【従業員】 31人

【業務】 各種ハーネス加工、コルゲート・チューブ切断加工、トロイダルコイル・空芯コイル加工



関連企業